

まちのかぜ 4月号

発行日 令和4年4月1日
北見市社会福祉協議会常呂支所
北見市常呂町字常呂 338 番地
〒093-0210 電話(0152)54-1200



ふまねっとでリフレッシュ

大きな黒いマス目を踏まないように歩く「ふまねっと運動」は、老人クラブ連合会常呂支部の主催で多目的研修センターを会場に24名が参加。日ごろの運動不足解消と頭と体を使った軽運動でリフレッシュしました。(1/19)

「ふまねっと運動」を始めて5年目。令和3年度は5会場で延べ225名が参加し、少しずつ前に進んでいます。

ウクライナ 人道危機 救援金 ご協力を！

ウクライナは今、戦闘が繰り広げられて多くの国民が緊張と不安の中で過ごしています。日本赤十字社では、ウクライナでの人道危機に対する救援活動を支援するため、海外救援金を募集しています。

1. 救援金名 ウクライナ人道危機救援金
2. 募集期間 令和4年3月2日(水)～令和4年5月31日(火)

3. 受付方法

【郵便局・ゆうちょ銀行】

口座記号番号 00110-2-5606

口座加入者名 日本赤十字社

※振替手数料は免除されます。通信欄に「ウクライナ人道危機」と記入ください。

【救援金の窓口】北見日赤事務局常呂分区(常呂総合支所保健福祉課)

地域ふれあい事業にご参加ください。

北見市社協常呂支所では、今年度も地域の皆様に参加してもらえ「地域ふれあい事業」を開催していきます。ぜひ参加していただき、皆様の交流を深めてもらえればと思います。

今回は、主な事業内容を紹介します。

★高齢者支援事業☆

(1) 安心訪問

70歳以上のひとり暮らしの方のお宅を年4回、地域見守り隊のボランティアや職員が訪問し、見守りや声かけを行っています。

(2) ふれあい昼食会

70歳以上の配偶者のいない方を対象に、ゲームや作り物などを楽しみ、昼食を用意して交流します。年4回(6・8・10・12月)開催し、12月はクリスマス会でサンタさんからのプレゼントもあります。会場までの送迎あり。参加料は一人300円(昼食代実費)

(3) ふれあい郵便

70歳以上のひとり暮らし及び80歳以上の方を対象に、自治区内の小・中学生、高校生のボランティアが作成したバースデイカードや年賀状を郵送します。

○町内会サロン【新規事業】

今年度から町内会単位で世代間の交流を深めることを目的とした「町内会サロン」を開催します。単年度に2つの町内会を対象に地域住民の交流を深めることができるよう、関係機関やボランティアなどの協力を得ながら町内会を支援します。



☆地域福祉交流事業★

○みんなの広場

地域のボランティアや福祉関係団体の活動を知ってもらうことを目的に、子どもから高齢者までの地域住民が集まり、異世代交流と集いの場を設けます。

○生きがい健康づくり事業

健康づくりを目的に「ふまねっと運動」を定期的に開催し、地域の皆様が健康づくりのきっかけにもらうために取り組みます。

○ふれあいパーティー

地域住民の皆様が一堂に会し、交流を広めます。演奏・合唱、お楽しみ抽選会。住民有志による実行委員会形式。コロナ禍で2年連続の中止となりましたが、毎年7月第3金曜日に開催を予定しています。

新規登録をお願いします。

上記の(1)(2)(3)の事業に参加を希望される方は、登録申請書を記入いただくと参加できます。登録用紙や詳しい内容は、常呂支所までお気軽にご連絡ください。

☎ (0152) 54 - 1200 FAX 54 - 1201

4月・5月の催し・お知らせ

【4月】

11(月):健康づくり「ふまねっと」(10:00 いこいの家)

28(木):いこい茶房(13:30 いこいの家)

【5月】

9(月):健康づくり「ふまねっと」(10:00 いこいの家)

14(土):まごの手届け隊(9:00 いこいの家)

19(木):支え合いの地域づくり会議(13:30 いこいの家)

26(木):いこい茶房(13:30 いこいの家)

※新型コロナウイルス感染症の影響により催しの開催を延期、または中止する場合があります。

ありがとう
ご協力

皆様からお寄せいただいた
ご寄付は地域福祉の向上
のために役立たせていた
だきます。

【ご寄付・ご寄贈】

深山 たつ子 様(豊浜) 5万円

・福祉推進のために。

武田 修 様(北進町) 3万円

・故人が生前お世話になったため。

相田 裕康 様(豊浜) 5万円

・故人が生前お世話になったため。

鈴木 敏文 様(末広) 5万円

・福祉推進のために。

【お詫び】令和4年2月号で赤い羽根共同募金に協力された常呂中学校生徒会(落合洗成会長)の苗字を誤って記載しました。訂正しお詫びいたします。

このひと



何か自分にできることをしたいと思っていました。母の介護や主人が亡くなったこともあり、声をかけてもらって、お話ボランティアを始めました。もう一人の方といっしょにお話を聞いています。常呂の昔の話や近所のことで話はよく合いますね。

佐藤ソヨ子さん(西町)/お話ボランティアを始めて1年半/趣味は手芸と花植えのサークル活動/樺太の本斗町生まれ/長男とふたり暮らしの76歳

編集者交代のお知らせ

皆様には、日ごろより常呂支所の社協だより『まちなかぜ』を読んでいただき、誠にありがとうございます。
令和4年4月1日をもちまして本紙編集者が交代いたします。前任は平成29年度から5年間にわたり本紙編集に携わりました。
これからも地域の皆様に寄り添った情報をお届けします。なにとぞよろしく
お願い申し上げます。(お)

◆お問い合わせ先◇ (市外局番 0152)

北見市社会福祉協議会常呂支所 ☎54-1200

高齢者相談支援センター常呂 ☎63-2026

(常呂地区地域包括支援センター)

常呂地区居宅介護支援事業所 ☎54-3443

ヘルパーステーション常呂支所 ☎67-7532

ほたて春巻き



◆材料(4人分)

○ほたての貝柱…110g ○鮭フレーク…90g ○大葉…8枚 ○春巻きの皮…8枚 ○塩コショウ…適量 ○揚げ油…適量 水溶き小麦粉…少々

◆作り方

①ほたてを洗い水気を切ったら、5mmほどの角切りにする。大葉は洗って縦の半分に切り水気を拭いておく。

②春巻きの皮を広げて、その上に大葉、鮭フレーク、ほたてを置き、塩コショウしたら、細目に巻いていく。水溶き小麦粉を皮のはしにつけて留める。

③フライパンに油を入れて、160度ぐらいの低い温度でじっくり揚げる。お好みでレモン汁などかけても良い。

(提供◎育味の会)

かんたんクッキング(34)

ボランティア情報紙

ぺったんこ

NO.216

2022
4月号

北見市ボランティア市民活動センター常呂
☎ (0152) 54-1200 fax (0152) 54-1201
ホームページ <http://www.kitami-shakyo.or.jp>
メールアドレス tokoro@kitami-shakyo.or.jp

常呂高校の「地域実習」は、学びの場を地域全体に広げましたー。

『知らなかった地域を知る、自己発見 そして将来を考えるきっかけ』

常呂高等学校(濱田哲也校長/全校生徒30名)では、令和3年度から新しい取り組みとして「地域実習」を開始しました。学校の外に出て地域でボランティア活動などを行い、地域との関わりと理解を深めていく新たな試みです。1年を振り返って感想を聞いてみました。



↑、ワッカガイドとしてワッカ原生花園の自然や花たちを観光客に紹介しました。

↓遊びマイスターで参加の小学生を見守る高校生(右)



「地域実習」を体験してみよう。



ふかやま れん
深山 蓮さん
(2年生/西町)

地域実習はとて面白い経験

自分の時間を取られた。でもいい経験ができた。1番印象に残っているのはワッカガイドで案内したこと。本州から来た人をガイドしてすごく喜んでくれた。ワッカでは花や町について話した。

他人のためになっているボランティアは、これからの人生でまたするかもしれないので、今回の地域実習はとて面白い経験になりました。



あきやま よしむね
秋山 義宗さん
(1年生/南町)

町の活性化が望める

ワッカガイドとネイパルの遊びマイスターを体験しました。「地域実習」を体験して、他人に対しての考え方が変わった。自分の考えは念頭に置きつつ、他人のことを思うようになったと思う。

今年やってきたものにプラスして今度は地域との関わりを体験してみたい。ネイパルは若い世代が多かったので、高齢者と関わりたい。これを高校だけでなく中学校や、小学生にも導入することで、地域ぐるみの活動が増えて、より町の活性化が望めると思います。



地域実習担当
かわしま としひろ
川島 敏裕 教諭

「地域実習」に取り組んで

学校の設定科目「地域実習」は、学びの場を学校から地域全体に広げて、社会貢献や異世代との交流などを目的に設定し、1年が経過しました。

生徒たちは多くの刺激があったようで、地域発見、自己発見、また将来を考える良い機会になったようです。この科目の実施のため、多くの方々のご協力をいただき感謝申し上げます。昨年度の内容を振り返り今年度以降、地域の一員として地域の活動に貢献できるよう取り組んでいきます。